

目 次

I. 総括研究報告

- 我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査の評価と課題----- 1
和田高士

II. 研究代表者による個別研究報告

- ・ 健診・検診に関する用語に関する再考 ----- 8
- ・ 人間ドックの主要検査・システムの健康診査として満たすべき要件等の検証-- 11
(14 ページ資料 URL リンク表)
- ・ 任意健診でのオプション検査に関しての健康診査としての要件等に関する検討-39
(41 ページ資料 URL リンク表)
- ・ 任意健診としてのミニマムプログラムの作成-----60
(あ) 海外の健診実態調査
- ・ 世界の任意健診の状況 -----65
(い) 国内の健診実態調査
- ・ 国内で行われている健康診査の現状と国際比較-----126
(資料 URL リンク) 表 1 : pp142、表 2 : pp152、表 3 : pp175,
表 7 : pp185、表 8 : pp187、表 9 : pp195
- ・ 人間ドック実施施設の地理的分布・加盟団体状況、健診・検診・保健指導実施状況
-----203
- ・ 自治体による法定外健診・検診を中心とした提供・住民負担金アンケート全国調査
-----210
(う) 任意健診の特性
- ・ 人間ドック受診者の特性からみた提言 -----235
- ・ がん発見の経緯における「健診・人間ドック」の位置づけ-----280
- ・ 受療行動調査結果からみた健診・人間ドックの意義と重点疾患-----289
- ・ 中高年者縦断調査からみた継続して人間ドック受診することの位置づけ-----296
(え) 任意健診の問題点
- ・ 人間ドックにおける医療面接のありかた-----300
- ・ 人間ドック判定区分・指導マニュアルの作成-----309
- ・ 人間ドック施設におけるがん集計の円滑化-----315
- ・ 健診・人間ドックに関する集団の健康や費用対効果、死亡率に関する報告のレビュー
-----319
- (お) 健診・検診項目の問題点
- ・ 法定健診項目の問題点-----324
- ・ 日本での健診・検診検査項目に関する US Preventive Services Task Force の評価

-----	335
・日本の健診・検診の検査項目に関する国際的学術団体の評価-----	341
・First WHO model list of essential in vitro diagnostics と任意健診項目の関係---	362
・障害調整生存年と健康寿命の損失年数からみた任意健診の検査項目の候補----	368
・厚生労働省「患者調査」報告からみた任意健診での検査項目の選定-----	373
III. 分担研究報告	
1. 腹部超音波診断精度管理検証・腹部超音波検診判定マニュアル英語版の作成 -----	377
平井都始子	
2. 人間ドック受診者におけるがん検診受診の状況 －国民生活基礎調査二次利用データ－ -----	387
祖父江友孝	
3. 成人期における法定健康診断 -----	398
立道昌幸 (資料) 表 2 特殊健診の項目 URL リンク	
4. 検診・人間ドックの眼底検査における読影医間の精度比較 -----	407
中野 匡	
5. 新潟県の間ドックデータを用いた推定塩分摂取量の検討 -----	411
-血圧の季節性変化の機序について-	
加藤公則	
6. 人間ドックにおける新規開発検査実施における留意点 -----	419
杉森裕樹 (資料)	
7. 任意健診・健診の医療経済的評価～緑内障検診を一例に～ -----	424
後藤 励	
8-1. 健診種別の健診後の新規治療開始率に関する検討 -----	430
川野伶緒	
8-2. 日本人間ドック学会における ALP 基準範囲設定に向けた基礎的検討-----	435
川野伶緒	
IV. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	445